

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	当院における ERCP 時、十二指腸鏡挿入困難症例に対する安全なラージバルーンアンカー法の検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	肝胆膵内科 川口真矢
研究期間	2019年10月～2020年5月
対象者	2016年11月～2019年7月の期間に通常の方法で十二指腸下行脚へ挿入できないと判断されラージバルーンを利用した症例を対象にしています。
当該研究の意義・目的	ERCP の基本は進行方向が見えない後方斜視鏡であるスコープを口から十二指腸下行脚まで挿入することから始まりますが、閉塞性黄疸を呈する悪性腫瘍では、スコープを安心して安全な管腔へと進めていくことが困難な場合があります。その際にラージバルーンをアンカーとして利用した方法が安全なスコープの挿入法であるかを検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別など）、・臨床データ（画像検査結果など）・手技の転記（合併症の有無など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考える範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 肝胆膵内科 川口真矢 代表 054-247-6111